

福井県スポーツ推進計画 改定 概要

福井県スポーツ推進計画：スポーツ基本法（H23.6）に基づき、県民がそれぞれのライフステージ応じてスポーツに親しむことができる環境を整えるための計画（H25.7）

計画推進期間： 第1次期間【6年間】H25(2013)～H30(2018)《福井国体・障スポ開催》 第2次期間【6年間】R1(2019)～R6(2024)

【改定の考え方】

- 国体・障スポのレガシー（県民のスポーツへの関心の高まり・スポーツ施設の充実・競技力の向上等）を活かし、更なるスポーツ振興やスポーツを通じた交流人口の拡大につなげるため、3つの基本施策に新たな取組を追加
- 施策の目標指標を、現状および国の「第2期スポーツ基本計画（H29）」を踏まえ設定・見直し

《福井県の目指す姿》

1. 県民の誰もがスポーツを楽しめる福井

2. 運動好きな子どもたちが元気に輝ける福井

3. 国内外で活躍できるトップアスリートが育つ福井

基本施策Ⅰ. 1県民1スポーツ

基本施策Ⅱ. 子どもの体育・スポーツ活動

基本施策Ⅲ. トップアスリートの養成

～福井国体・障スポを契機とした地域スポーツの振興～

～学校等での活動を通じた運動やスポーツの多様な楽しみ方の推進～

～福井国体のレガシーを活かした競技力の維持・向上～

施策の目標指標

施策の目標指標

施策の目標指標

項目	H24 策定時	H30 現状	R6 目標
成人のスポーツ実施率 (週1回以上スポーツを実施)	36.8%	54.1%	65%
総合型地域スポーツクラブ会員数	6,274人	6,619人	7,500人

項目	H24 策定時	H30 現状	R6 目標	
運動やスポーツをすることが好きな子ども	小学生	90.2%	91.2%	93%
	中学生	85.9%	87.2%	89%
1日の運動実施時間が1時間以上の子ども	小学生	61.5%	62.4%	78%
	中学生	75.7%	74.9%	82%

項目	H24 策定時	H30 現状	R6 目標
競技スポーツの全国大会での上位入賞数(1～3位)	データなし	290件	100件/年を維持
公認スポーツ指導者新規登録数	95名	87名	100名

具体的施策

具体的施策

具体的施策

1 「する」「みる」「ささえる」スポーツに親しむ環境づくり (P6)

1 学校体育の充実 (P13)

1 選手を育成強化する体制づくり (P16)

- ・一年を通してスポーツを楽しむ機会の充実(県民スポーツ祭等)
- ・県民交流イベントの開催(はびりゆうフェスタ等)
- ・総合型地域スポーツクラブの活動の充実(部活動連携等)
- ・オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成

- ・「運動が好き」な子どもを増やす体育の授業改善(楽しい、分かる、できる授業)
- ・小学校体育授業の支援(補助指導員派遣)
- ・体育指導資料集の活用と教員研修会の開催
- ・工夫して体を動かす時間を確保する「A1(アクティブワン)運動」の実施
- ・小学校・中学校にトップアスリートを派遣(走る、跳ぶ、投げる等正しい動作を習得)

- ・有望なジュニア選手の発掘・育成(能力測定会等)
- ・国体や全国大会等に向けた少年選手の確保(遠征・合宿等の強化支援、特色選抜入試等)
- ・成年の有力選手のUIターンへの促進(スポジョブふくいの継続)
- ・有望選手の強化(オリンピック候補選手の支援、中学生県選抜チーム)
- ・クラブ・企業チームの強化(自立を目指すクラブチームの支援)
- ・国体成年選手による少年選手の指導の推進
- ・「新しいお家芸競技」(地域に根差したスポーツ)の育成

2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 (P8)

2 地域の協力を得た運動部活動の推進 (P14)

2 指導者の育成と確保 (P18)

- ・働き盛り・子育て世代のスポーツ参加の促進(出前講座等)
- ・レクリエーション・スポーツの普及拡大(体験イベント等)

- ・公認スポーツ指導者や国体成年選手を運動部活動に派遣
- ・指導者の資質向上(地域スポーツ指導者研修会等)
- ・市町教育委員会や中・高体連と連携し、運動部活動の在り方の検討を促進

- ・国内トップクラスの指導者の配置(スーパーアドバイザーによる指導)
- ・指導者の確保と資質向上(研修会等)

3 ユニバーサルスポーツの推進 (P9)

3 スポーツ交流の推進 (P11)

3 競技力向上のための環境づくり (P19)

- ・高齢者や障がいのある人のスポーツ参加の促進(指導者派遣等)
- ・障がい者スポーツ選手の育成
- ・障がいのある人となない人が共にスポーツに親しむ機会の創出

4 スポーツボランティアの活性化 (P10)

- ・多様な指導者の養成(生涯スポーツ等)
- ・スポーツ指導者バンク等の活用(スポーツ指導者、スポーツボランティア)

5 スポーツ交流の推進 (P11)

- ・地域スポーツコミッションによるスポーツツーリズム等の推進
- ・県内のスポーツ施設を活用し全国規模のスポーツイベント等を誘致
- ・参加型スポーツイベント等の開催を推進
- ・県内トップチーム・選手を県民一体でサポート・応援

- ・スポーツ医・科学支援体制の充実(専属トレーナー派遣等)
- ・アスリートに必要な栄養指導の推進
- ・強化練習会場の確保
- ・強化備品・競技用具の整備